

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	124170	イーハートーブ花巻応援寄附金推進事業	
総合計画	分野	行政経営				
	政策	5-2	持続可能で健全な財政経営			
	施策	2	自主財源の確保			
目的	自主財源の確保と市の地場産品のPRのため、「ふるさと納税」制度の寄付者への記念品を拡充するとともに、寄付受入れに係る事務処理を行う。					
対象	イーハートーブ花巻応援寄附金寄付者					
意図	寄附額が増加し、花巻市の知名度が向上する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
1、寄付者への記念品贈呈 花巻市の地場産品等を寄付者へ記念品として贈呈 2、寄付手続及び情報発信 寄付の受付、税控除、個人情報に関する事務処理 寄付額拡充に向けた情報発信の強化 3、ふるさと納税取扱事務の外部委託《新規》 受領証明書の発送や記念品発送の取りまとめ事務等を外部委託						
市民参画の有無 []						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① PR回数			計画	15	10	
			実績	12	10	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 寄付人数		人	目標	21,000	16,000	
			実績	11,528	10,541	
② 寄付金額		千円	目標	217,000	200,000	
			実績	169,170	155,543	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		<input type="radio"/>	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
前年度成果を踏まえ、宮沢賢治や早池峰神楽などの文化面及び子育て等の寄付項目をわかりやすく整理し、寄付による返礼品についても、市内企業の協力により選択肢を増やし寄付しやすい環境整備を行ったが、全国的なふるさと納税ブームにより、各自治体間の競争が激化し、本市への寄付が減少した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	ふるさと納税制度は所得税及び住民税からの寄附金控除の仕組みを利用した、大都市圏から地方への還流を促す制度であり、行政が関与することが妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	PR活動の強化による花巻市の知名度向上の取り組みや、記念品の充実を一層図ることにより、寄付件数及び寄付金額の一層の増が見込まれる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費については、寄付件数に応じた規模の範囲内での事業実施となり、削減余地はない。人件費についても、寄付件数に対して、現行の人数が適正規模であることから、削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	他自治体の実施状況や総務省通知の内容に基づき、適正な範囲で実施している。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
自主財源を確保するため、本市におけるふるさと納税制度の周知をインターネット等で行い、一定額の寄付を確保した。また市の地場産品をPRするツールとして、市内企業におけるふるさと納税制度の認知度が向上し、活用したとの企業からの問い合わせ等があった。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業ID	事業名
一般	02	01	06	124170	イーハトーブ花巻応援寄附金推進事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		102,500	124,715	99,825	22,215
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他	102,209	124,715	99,825	22,506
	一般財源	291			△ 291

※特定財源の内訳

--

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

自主財源の確保と市の地場産品のPR・受注拡大を図るため、ふるさと納税制度を推進する。

事業開始の背景・経緯

寄付者への返礼品送付や納付方法の利便性向上により、寄付を大幅に増やしている自治体が増加している。ふるさと納税の増加は自主財源の増加に直結し、市内で生産・製造されている特産品を通じたPR効果や経済的な波及効果が見込めるため、平成26年度より事業を開始した。

事業概要

- 1、寄付者への記念品贈呈
花巻市の地場産品等を寄付者へ記念品として贈呈
- 2、寄付手続及び情報発信
寄付の受付、税控除、個人情報に関する事務処理
寄付額拡充に向けた情報発信の強化
- 3、ふるさと納税取扱事務の外部委託<新規>
受領証明書の送付や記念品送付の取りまとめ事務等を外部委託

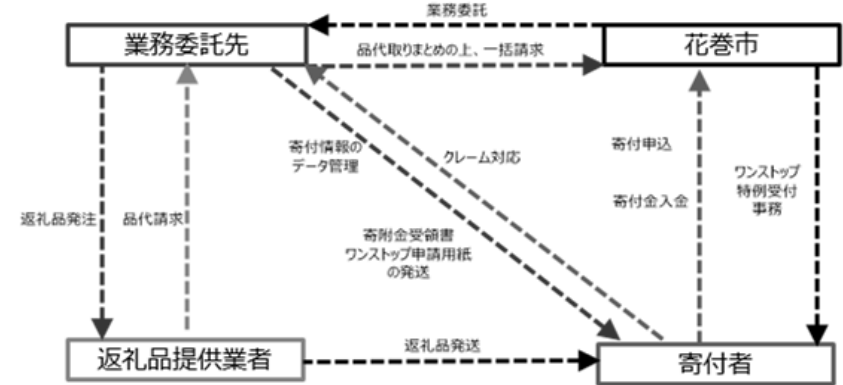
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 地域振興部 課名 定住推進課 担当係長 柳原美香 内線 213

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【事業関連図】



【業務区分】

花巻市	業務委託先	返礼品提供者
<ul style="list-style-type: none"> ●システムによる寄付者管理 ●クレジットカード決済入金管理 ●郵便振込入金管理 ●その他入金管理 ●返礼品代金支払 ●システム管理 ●ワンストップ特例申請受付事務 	<ul style="list-style-type: none"> ●システムによる寄付者管理 ●寄付申し出情報の管理 ●寄附金納付書等の発送 ●寄附金受領書の発送 ●受注振り分け ●返礼品発送依頼 ●返礼品発送 ●ワンストップ特例申請書発送 ●返礼品発送状況確認、クレーム対応 ●返礼品開発、事業者との調整 ●PR活動 ●返礼品請求取りまとめ、請求 	<ul style="list-style-type: none"> ●返礼品受注 ●返礼品梱包発送 ●返礼品請求

平成 29 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	02	01	06	124170	イーハトーブ花巻応援寄附金推進事業

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

◆事業費内訳 総事業費 124,715 千円

①寄付の受付・寄付金受領書証明書の発行・ワンストップ特例申請の受付

6,114 千円

(内訳) 賃金	198 千円
消耗品	680 千円
印刷製本費	36 千円
修繕費	16 千円
通信運搬費	1,574 千円
手数料	3,156 千円
器機借上料	454 千円

- (概要) ●寄付申出に伴う書類の発送、ネット申し込みフォームの設置
 ●寄付のネットカード決済システムの運用
 ●寄付に対する受領書の発行
 ●寄付の控除に係るワンストップ特例申請事務処理(確定申告なしでの控除特例)
 ●ふるさと納税事務のシステム処理

②寄付に対する記念品の送付

91,117 千円

(内訳) 報償費	91,073 千円
印刷製本費	44 千円

- (概要) ●9コースの寄付額に応じて、市の農畜産物や加工品、市内の温泉宿泊券等の記念品を送付する。
 ●パンフレット希望者や宿泊券等の花巻への訪問するタイプの記念品寄付者に対して、賢治記念館等の4館共通券を送付する。

③寄付額の拡充を情報発信を行う。(新規)

779 千円

(内訳) 旅費	207 千円
広告費	572 千円

- (概要) ●ふるさと納税に関する全国フェスタ等に参加し、PRする。
 ●ふるさと納税寄付者層が購読する雑誌等に広告をだしPRする。

④ふるさと納税事務を外部委託する

26,705 千円

(内訳) 委託料 26,705 千円

- (概要) ●ふるさと納税に関する受付事務・発送事務等を外部委託した。